

# 和し 鍛え 学ぶ

後期が始まりました。わずか三日間の連休をはさんで前期から後期に切り替わりましたが、今日は年度の後半の教育活動がスタートする大切な節目の日です。涼しくなってきましたので、今回はオンラインではなく全校生徒が集まって体育館で行いました。生徒たちはしっかりと背筋を伸ばして式に臨み、<sup>おこそ</sup>厳かな雰囲気の後期始業式を行うことができました。

式に先立ち、末野原賞の表彰と、後期生徒会役員・委員長・級長の認証を行いました。名前を呼ばれた生徒たちは立派に返事をして立ち、賞状や認証状を受け取りました。



## 10月15日（火）後期始業式で生徒に話したことを紹介します

全校のみなさん、おはようございます。今日から後期が始まります。気持ちを新たに頑張っていきましょう。先ほど末野原賞の表彰を受けた生徒の皆さん、おめでとうございます。これからも他の生徒の模範となる姿を期待します。がんばってください。

また、後期生徒会長の水野君をはじめ、後期のリーダーに認証された皆さん、さらに良い学校、学年、学級になるように、皆さんのリーダーシップに期待します。よろしくお願いします。

そして、生徒代表として後期への意気込みを発表してくれた3年生の久保君。久保君は、前期級長として「挑戦と成長」を大切にしがんばったこと、部活動に打ち込んだこと、音楽フェスティ



バルの指揮者として取り組んだことなどを話してくれました。その中には、大変なことや苦労もたくさんあったと思いますが、「活動を通して仲間と信じあえた、価値を得ることができた、人として成長することができた」と話してくれました。大変立派でした。

さて、今日は、1年の折り返しである後期のスタートです。前期を振り返って、自分自身が頑張ったこと、成長できたことは何でしょうか。

私は、前期を振り返って、特に、3年生と一緒にいった修学旅行、そして、音楽フェスティバルが心に残っています。3年生が修学旅行で見せた、時間やマナーを守って、楽しそうにメリハリをつけて行動する姿が大変立派でした。天気にも恵まれて最高の思い出ができました。そして、音楽フェスティバルでは、それぞれの学年が「プライド、煌めき、証」を大切にして取り組み、創り上げた合唱はどれも感動的でした。

11月1日の体育祭に向けた練習がすでに放課などを使って始まっていますね。当日がとても楽しみです。もっと楽しみなのは、皆さんが当日に向けてどんな取組をするのか、どんな姿を見せてくれるかということです。物事において、取組や過程にこそ価値があると私は考えています。当然、それが良ければ仕上がりも良くなるし満足度も上がります。そのために大切なことは3つです。「目標や目的をみんなで共通理解すること」「真剣に準備に取り組むこと」「仲間の気持ちを思いやって協力すること」です。「協力する」と口で言うことは簡単ですが、なかなか難しいものです。協力とは、優しさや思いやりと同じものだと思います。

そして、学校行事も大切ですが、行事で学んだことを学校生活に生かすことができれば、ただ一過性の、楽しい時間だけで終わってしまいます。授業と放課のけじめ、行事と日常の生活のメリハリをしっかりとつけ、自分たちで判断し行動できる学級・学年集団に成長できるように、日々の学校生活を大切にしてください。

最後に、今年は、末野原中学校創立40年の節目の年です。先輩たちが築き上げてきた伝統、学校行事、末中3本柱である「あいさつ、素早い行動、ボランティア活動」をさらに充実させ、実りある後期にしましょう。以上で話を終わります。

## 後期のスタートです さっそく授業を頑張っています

今日(10月15日)午前中の授業風景です。音楽室からは3年生の豊かな歌声が響いてきました。学年で歌う合唱曲の練習をしているようです。家庭科室では1年生がファイルカバーを製作していました。美術室では2年生が白い粘土で思い思いの動物の作品を作っていました。質感や毛並みがリアルでした。運動場では2年生が体育祭の大縄跳びや学年種目を練習していました。1年生教室では生徒たちが英語の予習の進め方を学んでいました。2年生教室では教育実習生の道德の授業が行われていました。やっと涼しくなってきました。体調に気を付けて元気に過ごしましょう。

